

演題: “量子コンピューターを指向した分子スピン
キュービットと超高密度磁気記録デバイスの創成
- 野茂とイチローと大谷は誰が偉いか? - ”

講師: **山下正廣 名誉教授**
東北大学 大学院理学研究科
化学専攻



日時: **2024年1月16日(火)**
15:00～

場所: 北海道大学理学部 本館 N-308 室

要旨: 一昨年のノーベル物理学賞が「量子もつれの実験的検証」に与えられたが、量子コンピューター開発にとって重要な発見であった。本講演ではまず、量子コンピューターの開発にとって必須の分子スピンキュービット開発について紹介する。次に、ムーアの限界を超すために単分子磁石を用いた磁気記録素子について紹介する。最後に、科学的に見て野茂とイチローと大谷のうちで誰が偉いか?について紹介する。

共催: 北海道大学大学院総合化学院, フロンティア化学教育研究センター, 北海道大学物質科学フロンティアを開拓する Ambitious リーダー育成プログラム, 北海道大学スマート物質科学を拓くアンビシャスプログラム

連絡先: 北海道大学大学院理学研究院化学部門 物質化学研究室

小林 厚志 (011-706-3479)

佐田 和己 (011-706-3473)